

**特集**

コロナ後の復調傾向が鈍化、3月度集中緩和の影響も？
ー 経済産業省セーフティネット調査にみる業況の推移

TOPICS

- 第14回 定時総会を開催
- 開催報告 ESOMAR Connect Japan 2024

Vol.80

2024/6/18 配信

iPhoneにChatGPTが搭載されるそうです。

ChatGPTに「iPhoneにChatGPTが搭載されることによる消費者行動の変化について200文字でまとめてください」と質問したところ、「iPhoneにChatGPTが搭載されることで、ユーザーはよりパーソナライズされた体験を享受でき、情報収集が効率化されます。これにより、音声アシスタントを利用した日常のサポートが強化され、企業のマーケティング戦略も精度が向上します。消費者はより迅速かつ直感的に必要な情報にアクセスでき、買い物やサービス利用の動線が変わることが期待されます」という回答が返ってきました。

どのようにサービスに組み込むのか全貌は見えていませんが、メールの返信文のパターン提示などが紹介されたそうです。スマホ販売における生成 AI スマホのシェアは今後上がっていくとのことなので、あらたな購買パターンなどが生まれるのかもしれませんがね。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

TOPICS

第 14 回 定時総会を開催

5 月 29 日に一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会 第 14 回定時総会を開催し、議案と報告が承認されました。

これを受けて、五十嵐幹会長より、任期 2 年目の活動方針や業界の展望が述べられました。

[五十嵐会長メッセージはこちら](#)

特集

経済産業省セーフティネット調査 にみる業況の推移



コロナ後の復調傾向が鈍化、3 月度集中緩和の影響も？

一 経済産業省セーフティネット調査にみる業況の推移

「2024 年 1～3 月期は例年になく厳しかった！」—景況の本格悪化か、3 月集中緩和の影響か？

コロナ禍を機に、JMRA 正会員社の皆さまには「経済産業省セーフティネット調査」へのご協力をお願いしてきました。同調査は、コロナ禍など経営環境の激変によって苦境に陥った業界の中小企業を金融面で支援するための施策である、「セーフティネット保証 5 号(略称:SN5 号)」への指定可否を判断する資料として活用されています。当業界はコロナ禍真っ只中の 2020 年に業種指定され、その後の業況回復に伴っていったん指定を外れましたが、再申請の機会に備え、継続して調査に協力しています。

5 月 29 日の JMRA 年次総会で 2023 年度の従来型マーケティング・リサーチ市場は前年比 99.8% と速報され、コロナ後の回復基調に水を差される結果となりましたが、セーフティネット調査からは資本金 5000 万円以下の中小規模層の苦戦がより明らかになっています。

(なお、第 49 回経營業務実態調査の詳細については来月号でご報告予定です)。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



The banner features a dark blue background on the left with a red and white circular logo containing the text '開催 REPORT 報告'. To the right, the text 'ESOMAR CONNECT | Japan' is displayed in white and orange. Below this, a smaller line of text reads: '最新事例に学ぶカスタマーインサイトの読み解き方 ~ AI・マーケティングDX・インバウンド・海外販路開拓~'. Further down, an orange box contains the date and time: '日時: 6月12日(水) 16:00 開始 (15:30開場)'. Below that, the venue is listed: '会場: GMO Yours・フクラス(渋谷)'. On the right side of the banner, there is a photograph of a woman and a man smiling, overlaid with large, semi-transparent circular graphics. At the bottom left, there are four small circular portraits of speakers. At the bottom right, the logo for 'CELEBRATE RESEARCH IMRD' is visible.

開催報告 ESOMAR Connect Japan 2024

2024 年 6 月 12 日、ESOMAR Connect Japan 2024 が、渋谷フクラスの GMO Yours にて、ESOMAR と JMRA の共催で開催されました。昨年に続く対面中心のイベントで、会場は満席の 150 名、オンラインからも約 200 名の参加があり、大盛況となりました。

ESOMAR Connect Japan は、リサーチ・インサイト業界の国際組織である ESOMAR と、日本のリサーチャーらの能力向上とネットワーキングのために行なわれるイベントで、国際市場調査デー

(IMRD: International Market Research Day)とタイアップしています。

今回は、“最新事例に学ぶカスタマーインサイトの読み解き方～AI・マーケティング DX・インバウンド・海外販路開拓～”と題したプレゼンテーションに引き続き、交流会が行われました。

本イベントの内容を簡単にご紹介します。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS

JMRA アニュアル・カンファレンス 2024
Beyond “Marketing Research”～新産業の協働と創造へ～
2024年11月28日(木) 開催

JMRA アニュアル・カンファレンス 2024 **今年は入場料無料と決定しました！**

11月28日(木)にベルサール渋谷ファーストにて開催する JMRA アニュアル・カンファレンスのテーマは、「Beyond “Marketing Research” ～新産業の協働と創造へ～」です。

先月ご案内の通り、JMRA の三役による座談会を予定。昨今の環境変化も踏まえ、マーケティング・リサーチ業界のこれまでの総括とこれからをテーマにトークを展開します。

さらに、メインプログラムの講演会として、日産自動車株式会社執行役副社長の星野朝子様による講演が決定しました。

5年ぶりのリアル開催となる今年のカンファレンスは、多くの方々に参加いただけるよう、入場無料での開催になりましたので、交流機会としてもご活用ください。

- ・日時:2024年11月28日(木)
- ・会場:ベルサール渋谷ファースト 2F
- ・テーマ:「Beyond “Marketing Research”」～新産業の協働と創造へ～

参加方法は、8月以降にご案内予定です。

TOPICS

開催
REPORT
報告

公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー
「公的統計における企業調査支援
(オンライン回答サポート)の取組について」

2023年度
第4回

2024年4月5日(金)
14:00～15:00

開催報告 公的統計基盤整備委員会主催ウェビナー 第4回

2023 年度主催講演事業の最後を飾った今回のウェビナーでは、独立行政法人統計センター理事長の佐伯修司氏と統計編成部企業調査支援課課長の星野健氏をお迎え、統計センターの設立背景や「統計を作る、活かす、支える」という役割、最新のシステムや技術研究、企業調査支援事業の他、具体的な事例や今後の課題などの広範なご講演をいただきました。

[詳しくはこちら](#)

連載

JMRA マーケティングデータ・ストレージ ピックアップセレクション

最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ委員会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

今月の注目調査

● 推し活に関する調査 2024 年

● 若者とシニアに関するアンケート調査

(2024.06.06 (株)ネオマーケティング)

(2024.06.04 (株)アスマーク)

「一億総オタク時代」などという言葉と共に、トレンド化した「推し活(おしかつ)」。全体としてはやや落ち着きを見せたものの、若い世代の間ではますますその勢いが増しているようです。

若者とシニアはお互いにどのようなイメージを持っているのでしょうか。若者とシニアの間では苦手なもののイメージには差があり、仲良くなりたくないという気持ちはあるものの、実際の対象が身近にないことが共通しているようです。

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

詳しくはこちら
(JMRAマーケティングデータ・ストレージ)

連載

『トランスフォーミング インサイト』 ～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～

トランスフォーミング・インサイト

インサイト部門のリーダーたちの学びと情報交換のための組織インサイトマネジメントアカデミー IMC の CEO ジェームズ・ウィッチャーリー氏の『トランスフォーミング・インサイト～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～』という本を元に、リサーチ業界にとってのクライアントである企業の「インサイト部門」にとっての課題を掘り下げていきます。

今回は「第5部 前進」より

第42章 勢いを持続させる

を紹介します。

著者:ジェームズ・ウィッチャーリー インサイトマネジメントアカデミー CEO

翻訳:岸田 典子 リサーチ・コンサルタント

[詳しくはこちら](#)

連載

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

今月の注目記事

●Xで集客→LINEに集約！

デジタル施策からリアルへの来館につなげる、「GRP取引」から「インプレッション取引」へ
そごう・西武のSNS戦略

[詳しくはこちら](#)
(外部サイト:MarkeZine)

今月の注目記事

●テレビCMセールスに迫る変革の時

[詳しくはこちら](#)
(外部サイト:MarkeZine)

教育講座・セミナー案内



定性調査がわかる基礎講座

2024年6月26日(水)・27日(木)

●定性調査がわかる基礎講座

実務経験豊富な講師陣が、体験に基づいた定性調査の魅力と基礎知識をぎゅっと凝縮してお伝えします。

これから定性調査に取り組もうという方、定性調査のプロジェクトを進める上でのビギナーやアシスタントの役割を担う方、また、定性調査を担当するようになったものの、いまひとつ確信がもてな

いと感じておられる方にも、ぜひご参加いただきたいオンライン講座です。

定性調査のおもしろさ、醍醐味、実務の流れ、設計上必要なこと、注意点を、講義とワークと Q&A で、体感的に学べます。

・日程:2024年6月26日(水)・27日(木) 各日 13:00~16:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)



定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

2024年7月3日(水)・10日(水)・17日(水)・24日(水)

● 定性調査 実務に役立つ企画力養成講座

調査意図を見極めて、分析的な視点で企画する力を身に付けます。

企画は調査の羅針盤です。企画をしっかりと考えることは、調査そのものの価値を上げ、役に立つアウトプットを導くことに繋がります。本講座では、クライアントのマーケティング課題を、調査目的→調査課題→調査項目と整理し、フローにつなげる流れを体系的に学びます。実際の実務の中で「シマッタ！を無くしたい」、「より満足度の高い定性調査にしていきたい」、そんな方々にご参加いただきたい講座です。

講座では、実際に直面するような事例を使った実践的なワーク体験で、考える力を身に付けます。複数の事例で、考える&実践的なワークを通して学びます。まず個人で考え、次に少人数のグループでディスカッションという組み合わせでワークを行うことで、知識をしっかり腹落ちさせます。

・日程:2024年7月3日(水)・10日(水)・17日(水)・24日(水)各日 13:00~17:00

・会場:Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)

リサーチ・イノベーション委員会

「データサイエンス研究会報告」&「データ解析担当者交流会」

2024年7月18日(木)

●「データサイエンス研究会報告」&「データ解析担当者交流会」

JMRA リサーチ・イノベーション委員会では、2023 年度の研究活動として「データサイエンス研究会」を組織し、この 3 月末にその成果を公表しました。

ビジネスの DX 化は必然的に観測変数を拡大させることに繋がり、変数の数がデータを上回るスパースなデータが発生します。

本セミナーでは、スパース推定と大規模データ解析の研究成果をお披露目します。同時に、日ごろリサーチデータの集計分析を担当しておられる皆さんの「交流の場」ともなるように企画しました。調査の集計業務を含めて、日ごろの悩みや解決策を語り合いましょう。

・日程:2024 年 7 月 18 日(木) 15:30~18:00

・会場:会場: JMRA 研修室(原則としてリアル参加のみ)

[詳しくはこちら](#)

AI・イノベーションセミナー第2回

リサーチ実務に活かすAIアプリ利用法

FA分類・レポート作成自動化を例に

7月5日(金) 12:00-12:45

●AI・イノベーションセミナー第2回

「リサーチ実務に活かす AI アプリ利用法／FA 分類・レポート作成自動化を例に」

生成 AI はリサーチ実務を変革させつつありますが、高い正確性の要求される実務への適用にはいくつかの留意点があります。

これらの課題をどう解決・回避できるのか、実際の生成 AI 関連ツールの開発経験を踏まえて、実務に生かせるツールのご紹介とともにご案内します。

特に、今回事例としてご紹介する Codist (FA 分類ツール) では新しく GPT-4o を採用し、その高速性を生かした快適な UI を実現しています。ぜひお試しください。

・日程: 2024 年 7 月 5 日 (金) 12:00~12:45

・会場: Zoom ミーティング

[詳しくはこちら](#)

多様なマーケティング・リサーチの
新潮流に触れる 著者が語るシリーズ2024【ウェビナー】

第1回

8.29

(木)

●著者が語るシリーズ 2024 第1回 内田和成氏

「AI に代替されない自分になるために。ベストセラー『仮説思考』『論点思考』『右脳思考』3 部作の著者が送る「アウトプットから始める知的生産の技術」

情報が氾濫し AI が進化し活用が進む現代、どう頑張っても情報収集力で人間が AI に勝つことはできません。アウトプットの質を高めるためには、インプットの質を高めることを意識した情報収集が重要となります。

ボストン・コンサルティング・グループ (BCG) を中心に活躍されてきた講師より、クライアントに価値あるアウトプットを生み出すための情報収集の方法や思考について解説いただきます。

・日程: 2024 年 8 月 29 日 (木) 12:00~13:30

・会場: Zoom ウェビナー

[詳しくはこちら](#)



●レイ・ポインター氏の生成 AI 講座 (2024.05.08) 録画視聴のご案内

去る5月8日に ESOMAR 会長 レイ・ポインター氏による生成 AI 講座「リサーチにおける生成系 AI の活用法_基礎編・定性活用編」が開催され、たいへんな好評*をいただきました。

(*満足度 100%: 事後アンケート結果より)

「当日は先約があり、残念ながら参加できなかった」「同僚から話を聞き、ぜひ自分も聞いてみたいが動画配信はないのか」といったご要望をいただいておりますが、このほどレイさんから特別に許可をいただき、記録動画をご視聴いただけることになりました(通常は対面のみ: 有料)。

ご希望の方は、視聴条件をよくお読みいただいた上でお申し込みください。

[詳しくはこちら](#)

お知らせ



●新刊のご案内 『「死」を考える』

JMRA 正会員社である、株式会社日本リサーチセンターの刊行物『エース』の連載「メモリの森～死ってなんだろう」が、単行本『「死」を考える』として刊行されました。「死」関連のプロフェッショナルによる示唆に富む話の数々がまとめられた一冊です。

・編著者: 『エース』編集室[編]

・タイトル: 「死」を考える

- ・定価:1,800 円+税
- ・ISBN:978-4-7976-7447-7
- ・出版社:集英社インターナショナル
- ・発売日:2024 年 5 月 24 日

詳しくはこちら
(外部サイト:集英社)



●ESOMAR Congress 2024 in Athens 参加登録のご案内

「インサイトの未来を定義する」をテーマとした今年の ESOMAR 大会は、9 月 8 日(日)～11 日(水)にギリシャのアテネで開催されます。

早期割引料金の締切りは 6 月 21 日(金)です、お急ぎください。

なお、JMRA と ESOMAR とのパートナーシップ契約に基づき、その後も JMRA 会員には 15%の割引料金が適用されます。また、調査プロジェクトの発注者側の皆さんには、さらに割安な特別定額レートが設けられています。

詳細なご案内をご希望の方は、JMRA 事務局までご一報ください。

詳しくはこちら
(外部サイト:ESOMAR)

●JMRA 会員社の名前を使った嘘の調査依頼(商品購入誘導、口座番号詐取)にご注意ください
近頃、JMRA 会員社の名前を使って覆面調査のためと偽って、金品を搾取する悪質な行為が生じています。

JMRA リサーチ綱領第 18 条は、「調査対象者がリサーチプロジェクトに協力したことの直接的結果によって、身体的、精神的、経済的、その他一切の被害を受けたり、不利益を被ることがあってはならない」と定めているため、JMRA 会員社が調査対象者にこのような依頼をすることはありません。ご注意ください。よろしくお願いいたします。

詳しくはこちら

●7月号は7月23日(火)発行予定です

- ◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。
- ◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。
- ◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。
- ◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。
- ◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階
<https://www.jmra-net.or.jp/>
office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。